

静岡大学 理学部 同窓会 会報

No. 35

発行所
静岡大学理学同窓会
静岡市駿河区大谷836
静岡大学理学部内
TEL054-237-1111(代)
会長 浅野安人

理学部の近況と大学改革の状況

理学部長 田中直樹



昨年の4月に理学部長に

就任し、わが身の処理能力を上回る重要な作業が次から次へとあり、腰を据えて研究する時間を取りづらいう状況のまま、瞬く間の1年が過ぎようとしています。

その重要な作業とは、主に次の5つです。1つ目は、学内の競争的資金という意味合いをもつ学長戦略経費を獲得するための書類の作成と、大学執行部との面談であり、5月中旬から6月中旬にかけての作業です。

国際化と地方貢献を柱とした教育活性化に関する提案が認められ、獲得した資金により成果を著実に上げています。例えば、国際化については、主部局として、インドネシアのマ・チュン

大学と大学間協定を締結したことは、理学部として初めての事例となります。2つ目は、6年ごとに実施する自己評価に対する外部の有識者を交えた外部評価委

員会の開催とその報告書の作成です。この委員会には、浅野同窓会会長にもご参加いただき、貴重なご意見を賜り、この場をお借りしまして改めて感謝申し上げますと存じます。3つ目は、規模に応じて参加する大学が異なる理学部長会議への出席です。5月、9月、10月の年3回の集まりがあり、そこでは、各国立大学の理学部の置かれている現状についての意見交換が行われます。その中でも、地方貢献に重点を置く18大学の理学部長会での意見交換は、進むべき方向性が本学と類似していることもあり、アイデアを共有でき有意義なものです。4つ目は、第4期中期計画・中期目標のキックオフという位置づけをもつ文部科学省との徹底的対話に向けた調書の作成です。その調書には、理学部関連では、重要性が増している数理・データサイエンスを学修する機会の拡充が盛り込まれています。5つ目は、第3期中期計画・中期目標の4年目終了時評価の現況報告書を作成している最中であることです。第2期中期計画・中期目標から伸長した、あるいは、新たな取り組みを

再確認する良い機会となっております。この間、執行部、運営委員会、自己評価委員会、事務部の皆様のご協力、順調に作業を進めることができましたことに深く感謝するとともに、理学部の将来性をともに考えていけるとよいと感じているこの頃です。

さて、本学は浜松医科大学との再編統合を昨年度の3月に機関決定しておりますが、現在、本学と静岡市は、包括連携に関する協定の一環として、地域の課題に協働して取り組み、その成果を共有することを通して、次の時代の静岡大学の教育研究と静岡市のまちづくりを活かし、大学と地域の発展向上につなげるために、静岡大学将来構想協議会を開催しています。今後の議論の行く末に関わらず、本学は、数学科、物理解学、化学科、生物科学科、地球科学科の5学科で構成し、大学入学後に学びたい分野が明確に決まっている受験生のニーズに応えることができる教育体制を維持していくべきと思っております。また、放射科学教育を担う放射科学教育研究推進センター、英語による情報の発信力及びイノベ-

ションとグローバルの観点を用意した基礎科学を活かせる人材を育成する「創造理学(グローバル人材育成)コース」も重要な役割を果たしていかねばと考えています。というのも、このコースの学生は、1年次では学科を決定せず興味に合わせ幅広く学び、2年次に自分の適性を踏まえて1つの学科に所属します。受験生の多様性に配慮した教育プログラムであり、大学入学後に専攻を決めたい学生に合わせたコースであるわけです。本年3月に本コース一期生が卒業し、同窓会の皆様の後輩として社会に貢献、活躍することを期待しています。加えて、同窓会の皆様には思いのある本学部B棟は、3月末に改修が終わり、1階がキャンパスミュージアム等、「地域と繋がる」を意識した空間へ、2階が講義室、演習室からなる学生への教育環境が充実するスタイルへ、また、3階が機能性の高い研究室で構成されるスペースへと、新しく生まれ変わります。新たな講義室、研究室に励む姿を見ることができると楽しみにしています。

最後に、同窓会の皆様の益々のご活躍をお祈りするとともに、これまでと同様、静岡大学理学部をご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

- SF小説「三体」の概要と背景……………(5)
- 理学部B棟改修に寄せて……………(7)
- (龍爪だより)エデンの園 中曾根康弘……………(8)

静岡大学全学同窓会2020静岡交流会のお知らせ

静岡大学が大きく変わろうとしています。この時期に、各地で活躍されている同窓生の皆様、静岡大学にひとつの心を持って、静岡大学の今後を応援していくために、学部を超えて同窓生相互が交流する機会をつくろうということで始めたのが、全学交流会です。つきましては、多くの皆様の参加をお待ちしております。

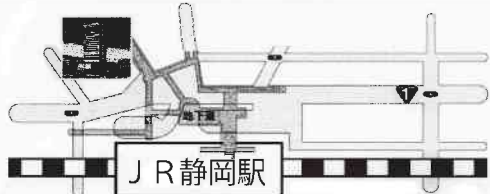
- 日時 令和2年6月7日(日) 14:30~18:30 (受付開始14:00)
- 会場 グランティエールブクトーカイ (葵タワー4階)シンフォニー 静岡市葵区紺屋町17番地の1 ☎054-273-5225
- 会費 8,000円 (68期同期会参加者は別途連絡のとおり)

記念講演会
講師 今野弘之氏(浜松医科大学学長)
演題「最新医療の現状と医療現場における問題点」(仮題)

記念演奏会
箏曲演奏家 長谷川慎氏(静岡大学教育学部准教授)
※静岡交流会開催に先立ち、「理学同窓会68期同期会」(13:00~、会場4Fエチュード)が開催されます。

【参加申込み】
(申込み締切)4月30日(木)

■理学部
静岡大学理学同窓会事務局 FAX 054-238-3081
事務局メールアドレス: scialm@shizuoka.ac.jp 又は、会報送付時の「住所変更連絡用はがき」で連絡ください。連絡をいただければ、郵便振替用紙を郵送いたします。(口座番号: 00860-4-60479)



静岡大学 理学同窓会 科学講演会・懇親会のご案内

11月に開催されます静岡地区静大祭に合わせ、理学同窓会総会および理学同窓会主催の科学講演会を開催いたします

- 日時 令和2年11月14日(土) 13時より
- 会場 理学部A棟2階大会議室(A209)
- 理学同窓会総会 13時30分より
- 科学講演会 14時30分より

終了後、懇親会を開催します。詳細は、同窓会のHPに掲載します。

第8回 静岡大学理学同窓会(東京) 第6回 静岡大学地学同窓会 総会・講演会・懇親会の開催案内

理学部同窓生、地学履修コース・地球科学科同窓生の多数のご参加をお待ちしております

日時:2020年5月30日(土) 12時~16時
会場:アルカディア 市ヶ谷(私学会館)

スケジュール:
第I部 理学同窓会東京支部 総会、地学同窓会 総会
講演1:安達正敏(地学履修コース)「地熱の話」(仮題)
講演2:未定
※講演終了後、集合写真を撮ります

第II部 懇親会(14:00~16:00)
参加申込:参加を希望される方は、下記項目を記載し返送(Eメール/FAX/住所変更連絡用はがき)願います。

氏名、学科、入学年度、住所、電話番号(FAX)、メールアドレス、二次会参加希望
【参加申込み先】(申込〆切り:5月18日(月)) 次の2通りがあります。
1) 理学同窓会から郵送又はメールで案内が届いたケース:理学同窓会事務局 松浦有里子へ連絡願います。
メール:scialm@shizuoka.ac.jp FAX:054-238-4791
2) 東京支部幹事からメールにて案内が届いたケース:理学同窓会東京支部事務担当 足立信広へ連絡願います。
メール:nobuhiroadachi0805@gmail.com
または地学同窓会事務局担当 志田原巧へ連絡願います。
メール:shidaharatk@newjec.co.jp

■所在地
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL03-3261-9921 FAX03-32621-9931

■交通のご案内
・地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口
・地下鉄新宿線 市ヶ谷駅(A1またはA4)出口
・JR中央線(各駅停車)市ヶ谷駅

静岡大学理学同窓会・中部支部 第3回総会・懇親会のご案内

静岡大学理学同窓会・中部支部の第3回総会・懇親会を下記の要領で開催いたします。皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

中部支部支部長 浦野功三

日時:令和2年6月14日(日) 14時30分~

総会会場:「ウインクあいち」11階 1105室
※名古屋市市中村区名駅4丁目4-38 TEL052-571-6131

懇親会会場:名古屋「百楽」16時30分~
※名古屋市中村区名駅4丁目6-23第3堀内ビル14・15階 TEL052-581-1511

懇親会会費: 6,000円
参加申込先: 静岡大学理学同窓会事務局
e-mail: scialm@shizuoka.ac.jp
FAX: 054-238-3081

または 同封の「住所連絡用はがき」にて氏名・学科・入学年度記入のうえご連絡下さい。
※ご連絡いただいた方に会費の振込用紙をお送りします。

退任教員

地球科学科

教授 森下祐一



まだ若いつもりで、いつか退任の日を迎えるに定年退職の日を迎えることとなりました。産業技術総合研究所から異動して7年間という短い期間でしたが、皆様にお世話になりました。

産総研の前は通産省地質調査所と米国USGS大学で研究していましたが、一方、科学技術庁、通産省工業技術院そして人事院で行政の仕事もしておりました。大蔵省(現財務省)に提出する三段表と呼ばれる予算書の作成や、国会議員の先生方からの質問に答える国会答弁書の作成などを行ってまいりました。静岡大学にはこのような経歴の教授がいらつしやなかったもので、その経験を大学執行部で大学の発展に生かすべく2度の学長選で学長候補推薦人として活動しました。外から見た文科省ではなく、霞が関で仕事して初めて中央官庁の本質が見えるからです。しかし学長選では力及ばず、結局大学の力になることはできませんでした。私の専門は資源地質学です。60年前の我が国では数百もの金属鉱山が稼働しており、重要なベ-

スマタルは国内生産で自給していましたが、中国からの安価な金属の流入が後押しして急速に閉山が進み、現在では4鉱山のみが稼働しているに過ぎません。因みに職を失った多くの鉱山地質技術者は環境分野の技術者に転身しました。資源と環境は正反対のイメージですが、両者とも心臓部は「元素の溶解-移動-沈殿」を扱う科学です。鉱山の激減に伴い、大学でも資源地質学専攻教員が激減し、ほとんどの大学で鉱床学や鉱物学の講義が受けられなくなっています。

静大で資源地質学を教えるにあたり、同位体の性質や機器分析の実際など理系学生の必須分野や基礎的な地球科学の理念の上に資源地質学を据えて、初めて聞く学問を学生に伝わりやすくするように心がけました。博士課程に進んで研究者となる学生以外は社会に出るので、日本の社会人として知っておきたい知識や考え方をできる限り伝えました。

鉱山が激減して資源地質学がマイナーになった日本ですが、レアメタル・レアアースを世界で最も必要とする国であることは間違いなく、日本での資源地質学の重要性は逆に高くなっています。私は社会においては資源地質学会会長として様々な努力をしています。4月からは本学の客員教授、産総研の客員研究員、静岡県庁の委員として体が動く限り我が国の発展に少しでも貢献していきたいと希望しております。

ます。よろしくお願い致します。

物理学科

名誉教授 石館健男

夫 石館健男は二月六日静かに旅立ちました。顔には出しませんでした。家族を愛し、物理を愛し、こよなくお酒を愛した人でした。生前に賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。

令和二年二月 喪主 石館愛子

転任教員

化学科

准教授 山中正道



2004年4月、静岡大学理学部化学科の助手に採用していただき、生まれ故郷である静岡の地に帰ってきました。翌年には、卒業研究生を迎え独立した研究室を運営させていただくこととなり、静岡での本格的な研究生活をスタートすることにいたしました。練りに練った研究テーマに、配属された学生たちと懸命に取り組まれました。しかし「机上の空論」とはよく言ったもので、実験は困難の連続で、めばしい成果は得られないまま年度末の卒業研究

発表会を迎えることになりました。学生たちは、精一杯頑張ってくれていたにもかかわらず、ネガティブデ-タばかりの発表をさせてしまい心苦しく思っていました。そんな時、先輩の先生から「いいアイデアの面白い研究だね」と声をかけていただき、大いに励まされました。出来ることをやるのではなく、やりたいこと知りたいことを探求する「理学の美学」にはじめて触れた気がしました。その後もよき共同研究者である学生に恵まれたおかげで、少しずつではあるものの成果らしきものも得られるようになってきました。毎年卒業研究発表会の季節になると、今年は面白い研究ができたか?と自問するのが習慣となっていました。

この度16年にわたりお世話になった静岡大学を離れることに寂しさを感じているが、新天地においてもここで得た経験を活かし研究教育に励んでゆきたいと思えます。最後に、理学部教職員ならびに理学同窓会の皆様の御厚情に心より御礼申し上げます。静岡大学理学部益々のご発展を祈念いたします。

新任教員

地球科学科

准教授 田阪美樹



小さい子供の母親として日々育児に仕事に邁進しています。子供目線で自然を見ると、不思議がいっぱいあることに気が付かれます。最近も、保育園の帰りに「お月様」が見えて、家の駐車場でも「お月様」が見えて、家のベランダからも「お月様」が見えたから、お月様は3つあるんだね!と真面目に言われました。大人は「お月様」は1つで、遠くのお月様を違う角度から見ていると知識で知っています。しかし宇宙にはお月様が3つある惑星もあるかもしれません。自然科学を志す我々は偏見に捕らわれず物事を柔軟に見る力が必要だと思います。

静岡大学理学部同窓会会計報告 (平成30年度)

2019年9月30日

		予算額	実績	差額	
収入の部	前年度繰越金	16,736	16,736	0	
	終身会費 (207人)×30,000×0.7	4,620,000	4,240,000	-380,000	
	名簿代	0	0	0	
	受取利息	0	1	1	
	100周年記念事業		248,000	248,000	
	寄付金	180,000	105,000	-75,000	
	雑収入	0	24,000	24,000	
	合計	4,816,736	4,633,737	-182,999	
	支出の部	印刷費			
		会報9000部	850,000	1,127,520	277,520
卒論抄録集660部		650,000	626,400	-23,600	
名簿 200部		150,000	0	-150,000	
封筒・はがき・他		200,000	432,920	232,920	
通信費		800,000	757,807	-42,193	
会議費・旅費交通費		550,000	525,032	-24,968	
送金手数料等		60,000	32,180	-27,820	
備品代		70,000	29,544	-40,456	
支部活動運営費		300,000	350,000	50,000	
事務用品費・雑品		50,000	1,944	-48,056	
事務手数料		380,000	180,000	-200,000	
慶弔費		40,000	3,000	-37,000	
特別講座支援		400,000	222,000	-178,000	
特別支出 (ABP入学奨励金)	200,000	164,790	-35,210		
予備費	116,736	0	-116,736		
合計	4,816,736	4,453,137	-363,599		
差引残高			180,600		

事務手数料未払金 ¥180,000-
以上報告いたします。
令和元年9月30日
会計 赤星 順一
監査の結果、報告のとおり相違ありません。
監査 松山 初男
野口 和廣

創立百周年に向けて 理学部・理学系大学院への教育支援の寄付のお願い

来る2022年8月24日に、静岡大学理学部と人文社会科学部は旧制静岡高等学校の創立から数えて百年目を迎えます。また、理学部B棟の更新の時期を迎えております。これを期に、記念事業として、理学部教育設備・機器の更新を行いたいと考えております。科学技術の進歩に伴いこれまで未知だった様々な事象が解明されるようになった昨今ですが、同窓生の皆様におかれましては、各分野でご活躍のことと思います。静岡大学においても教育学部の定員削減に伴い、創造理学(グローバル人材育成)コースを設け、理科志望の学生を受け入れるなど理学部の重要性は高まっています。しかしながら、文部科学省の基礎研究への配分が少なく、かつ実績重視のため、教育にかかる父母の負担が高まっているのが現状です。実験や実習を減らし、パソコンによるシミュレーションを行うことでは、未来の科学者を育成することは困難です。静岡大学の理科教育の向上をはかり、未来に続く大学の礎を作るためにも、同窓生の皆様方の絶大なご支援が今必要です。

同封のゆうちょ銀行の振替口座払込票(加入者名:静岡大学理学部同窓会、口座番号:00860-4-60479(※))をご利用になり、ご送金ください。金額は3千円から結構です。寄付目的欄の「口その他」の欄に「創立100周年記念事業寄附」と印刷したものをお送りします。理学部とは、大学院総合科学技術研究科理学専攻、創造科学大学院の理科系コースも含まれます。なお、お手許に振替口座払込票(※)がない場合は同窓会事務局までメールか電話にてご一報ください。事務局よりお送りします。電話は留守電機能つきですので、不在の場合は、氏名と電話番号をご伝言願います。理学部の事務課総務係でも伝言は受け付けます。同窓生諸氏の暖かいご支援を重ねてお願い申し上げます。静岡大学理学部同窓会前会長 浅野安人
静岡大学理学部同窓会事務局
静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部C205-1
socialm@shizuoka.ac.jp TEL./FAX.054-238-3081

数学科の活動

数学科 久村裕憲
 長年数学科で事務を担当して下さった樽松安江さんが昨年度をもちましてご退職なさいました。数学科図書室で本を借りるとき、また、コピーカードを借りに行くときなど何かと樽松さんにお世話になった方も多いことと思います。樽松さん、長い間本当にありがとうございました。

さて理学部同窓会では、毎年、理学部数学科または総合科学技術研究科理学専攻数学コースを卒業された方の中から同窓会寄付講義をして頂ける方を毎年募集しています。どなたか適任と思われる方がいらっしゃいましたら是非とも同窓会委員にお知らせ下さい。宜しくお願いします。

物理学科の活動

物理学科 松山晶彦
 H31年度は、創造理学コースの完成年度に当たり、物理学科では4名が卒業しました。

創造理学コースは、「実践的授業」や「国際的視点の育成」などを特徴にしている。創設から4年経ち第1期生を送り出すことが出来ました。また、グローバルな視野の育成の観点では、ABP英語コース(修士課程)の留学生が3名在籍しており、日本人学生にもよい刺激になっていると思えます。学生が英語で会話しながら廊下を歩き来するようなことは、10年前には考えられないことでした。

理学部各学科活動

数学科を卒業後、東京工業大学大学院理工学研究科数学専攻博士課程に進学され、現在、静岡県立大学経営情報学部にて勤務なさっております。専攻は函数論、複素解析学、タイヒミラー空間論です(ホームページ参照)。今回の講義では御自身の大学院から就職までの貴重な御体験をお話下さいました。とても心を動かされる内容でした。また講義後には質疑応答も活発に交わされました。進路について考慮中の学生さん達にとっても参考になる素晴らしいお話でした。天野先生、御多忙のところ静岡大学修士課程理学専攻の学生さん達のために本当にありがとうございました。

「理学同窓会寄付講義」では、理化学研究所の前島先生にスーパーコンピュータ「京」を用いた気象予報について講演していただきました。ちょうど「京」の運用が終了し、新しいスーパーコンピュータを導入する時期でしたので、とてもタイムリーな話題でした。ちなみに、後継機の名前は「富岳」に決定し、富士山を望める静岡県民としては嬉しいことです。

卒業生の進路については、求人状況は引き続き好調でした。一方で、就職活動が前倒しになり、今では3年生の夏休みにインターンシップに参加して、就職活動が始まっています。4年生になると、就職活動と卒業研究を並行して行うことになり、学生はなかなか大変なようです。詳しい進路先については、理学部のHPをご覧ください。

以上、簡単ですが物理学科・物理コースからの近況報告といたします。

化学科の活動

化学科 大吉崇文
 化学科は物理化学や有機化学、無機化学や生化学の各グループから構成されており、それぞれの先生が多くの論文を発表して、その一部が静岡新聞などに紹介されました。さらに、修士2年の学生の学会発表が表彰され、日頃の研究成果が認められました。また、大学院の同窓会寄付講義の講師として、化学科卒業生である経済産業省の小澤一仁さんを招き、省庁の仕事について日頃知ることのできない内容について講義していただきました。

世界最先端の内容を研究

している各研究室には通常4年生から学生は配属されますが、大学院入学後の早い時期から先端的な研究を先取りして体験できるプログラムが本学科にはあります。具体的には、1年次後期から2年次前期の学生を対象として、希望者を募って早期研究室体験プログラムを実施しています。希望する研究室に一定期間配属して、普段の講義では味わえない研究活動を体験することで、知的好奇心が刺激されて、学習意欲が向上することを期待しています。前回は1年生が計18名、2年生が計1名、それぞれの研究室に配属されて、様々な研究を体験いたしました。

また化学科では、平成28年10月からアジアリッチプログラム(ABP)の留学生を受け入れています。ABPにより入学した学生は、文化の違いなどいろいろな苦労する点がありますが、日本や静岡に徐々に慣れていき、勉強や研究に取り組む姿が見られました。さらに、留学生の存在に日本人の学生も刺激されて、よい相乗効果が見られています。本年10月に新たにABPにより学部と修士にそれぞれ1名ずつインドネシアから留学生が入学して、計3人の学生が本プログラムにより化学科または化学コースで勉強や研究を頑張っていることです。

最後に、理学同窓会が末長くご繁栄されることを願って、化学科の紹介を終えさせていただきます。今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

地球科学科の活動

地球科学科 平内健一
 2019年度の理学部地球科学科(学科長・木村浩之)は、教員14名の体制で始まった。年度途中で、1件の教員人事が行われた。選挙の結果、11月1日付で、田阪美樹教員が島根大学より着任した。一方、本学科の池田昌之教員が1月1日付で東京大学に転出した。この他、理学部創造理学コース担当のDFG教員、防災総合センターの原田賢治教員が、学部生の教育に携わっている。

年度初めには、学部の新入生として47名、大学院修士課程の新入生として8名を迎えた。今年度に入学科であった主な出来事を、学科のウェブサイト(https://www.sci.shizuoka.ac.jp/geo/Welcome.html)などから抜粋して、以下、時系列順に記載する。

4月1日には、三井雄太教員が第4期静岡大学若手重点研究者に選出された。7月10日には、静岡大学地球科学研究報告の46号が出版された。9月16日には、北村晃寿

生物教室では、平成31年3月に学部40名、修士課程18名が卒業・修了しました(平成30年度卒業・修了)。学部卒業生の13名の就職希望者のうち12名が就職し、他27名全員が大学院へと進学しました。13名が静岡大学の総合科学技術研究科理学専攻の生物科学コース、14名が他大学大学院へと進学しました。本学科は例年、大学院への進学率がきわめて高い(今回は67.5%)のが特徴です。修士課程修了者14名のうち、就職希望者は全員が就職し、2名が静岡大学の創造科学技術大学院(博士後期課程)に進学しました。就職は、学部と修士を合わせると一般企業への就職が19名、公務員4名、教員3名となっております。また、令和元年9月にABPプログラムで修士課程に在籍していた3名の外国人留学生が修了し、そのうち2名の学生は創造科学技術大学院へと進学しました。

令和元年度には、学部学生として45名(ABPプログラム1名の学部学生を含む)、修士課程の学生として先に述べた13名、およびABPプログラム修士留学生6名(平成30年10月入学)を新たに受け入れました。平成30年度に入学した創造理学(グローバル人材育成コース)の学生のうち5名が生物系を専門分野として選択し、2年生になる令和元年度から生物科学科に配属されました。多様な経路で生物科学科、生物科学コースの一員となった学生の皆さんが、活気を持って勉学・研究に勤しんでいます。学生の皆さんの積極的な研究の結果、学会における優秀発表賞が3件、学生対象の研究助成金獲得が1件ありました。

生物科学科の活動

- 大学院総合科学技術研究科 理学同窓会寄付講義**
 2019年に開催された寄付講義です。
- 第1回 4月11日(木) 16:05-17:35
 講師：須藤 智 氏
 勤務先：静岡大学 大学教育センター 准教授
 「理学大学院正のキャリアを就職から考える」
 - 第2回 6月27日(木) 16:05-17:35
 講師：天野 正紀 氏 数学コース担当
 勤務先：静岡県立大学 助教
 - 第3回 7月4日(木) 16:05-17:35
 講師：針金 由美子 氏 地球科学コース担当
 勤務先：国立研究開発法人産業総合研究所 規格主幹
 - 第4回 7月11日(木) 16:05-17:35
 講師：上原 雅行 氏 生物科学コース担当
 勤務先：岐阜大学 研究推進・社会連携機構 准教授
 - 第5回 7月25日(木) 16:05-17:35
 講師：小澤 一仁 氏 化学コース担当
 勤務先：経済産業省中小企業庁事業環境部
 - 第6回 8月1日(木) 16:05-17:35
 講師：前島 康光 氏 物理学コース担当
 勤務先：理化学研究所計算科学研究センター

果、学会における優秀発表賞が3件、学生対象の研究助成金獲得が1件ありました。現在、講義棟である理学部B棟が全面改修中です。来年3月には改修が完了し、4月から新たな環境で講義や演習に取り組むこととなります。同窓生の皆様、静岡にお越しの際は、ぜひ母校静岡大学に足をお運びください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

教員による研究成果が「静大教授と合同 発生間隔知る資料に1600年前にも南海・駿河トラフ地震の可能性」警田南高生ら研究班が発見として朝日新聞朝刊(23ページ)に掲載された。

10月10日には、サイエンスカフェ静岡において川本竜彦教員が「沈み込んだ海水が火山を作る」というタイトルで講演を行った。

10月23日には、グリーンサイエンスカフェ浜松において木村浩之教員が「静岡県の地下に眠るエネルギー!!」地層と温泉と微子絵物とメタンの物語」というタイトルで講演を行い、その様子が10月23日付の静岡新聞朝刊(18ページ)に掲載された。

理学同窓会寄付講義 講師募集

11月16日には、学科4年の山平菜月(指導教員は久保篤史教員)さんが、公益社団法人日本水環境学会中部支部研究発表会において中部支部優秀発表賞を受賞した。

北村晃寿教員が、11月30日〜2020年4月5日までふじのくに地球環境史ミュージアムで開催の企画展「大絶滅 地球環境の変遷と生物の栄枯盛衰」の監修・図録執筆を行った。

応募または推薦していた方には、理学同窓会事務局または担当教員までご連絡ください。令和2年度担当教員募集は、理学部近藤満 TEL./FAX:054-238-3081 (電話は大容量の伝言登録機能付です)

第28シリーズ

平成31年3月14日(木) 18:00-19:30

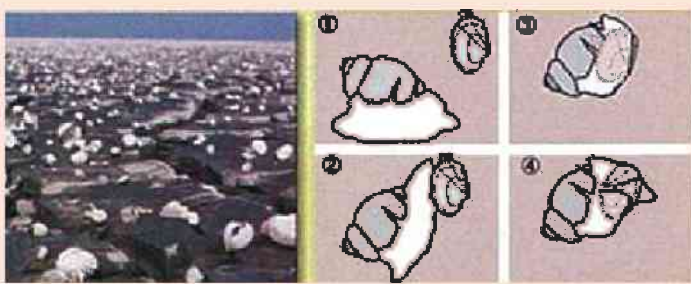
佐藤 慎一

静岡大学 理学部地球科学科



【第133話】「潮干狩りの古生物学」

干潟貝類を対象に、人為的影響による現生生物の変化に着目して生態学的調査や観察から化石生物の古生態を考察しています。いま私たちの目の前で起こっている人為的な環境変化や外来種の問題も、地質時代に生じた河水性海水準変動や大量絶滅後の生物の変化と比較できるかもしれません。



平成31年 4月25日(木) 18:00-19:30

日下 宗一郎



ふじのくに地球環境史ミュージアム

【第134話】「古人骨はかく語りき〜同位体分析からさぐる縄文時代の食性〜」

縄文時代の貝塚から発掘される古人骨は、過去の歴史を探索するための格好の資料です。骨や歯に含まれる元素の同位体比を測定することで、当時の食生活を調べることが出来ます。縄文人骨の分析でどのような食生活が明らかになつてきたのか最近の知見をご紹介します。



令和元年5月23日(木) 18:00-19:30

松本 敏隆

静岡大学 理学部 数学科



【第135話】「無限次元ベクトル空間のはなし」

2次元空間は2つの数の組(x, y)、3次元空間は3つの数の組(x, y, z)の集合として表わすことができます。数の組を無限に増やせば無限次元の空間が得られそうですが、このままでは解析を行なうには不都合が生じます。この講演では「適切な無限次元空間の導入および偏微分

方程式の研究との関係について紹介します。

Mathematical equations: (e_j, e_k) = 1 if j=k, 0 otherwise; f(x) = sum_{j=1}^{2n} (f_j, e_j) e_j(x); f perp g iff integral_0^{2pi} f(x)g(x) dx = 0; integral_0^{2pi} cos mx sin nx dx = 0

令和元年6月27日(木) 18:00-19:30

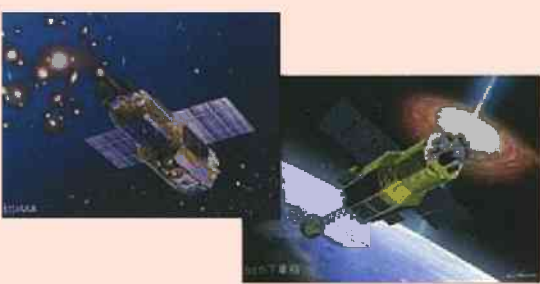
内山 秀樹

静岡大学 理学部地球科学科



【第136話】「宇宙の中の変わり者達〜X線天文学入門〜」

望遠鏡ではなく人工衛星を使い、X線で宇宙を調べるX線天文学をご存知ですか。X線で眺めると、宇宙の変わり者達が見えてきます。普通の星である太陽と対比しつつ、宇宙の変わり者の世界に皆様をご案内します。



令和元年7月25日(木) 18:00-19:30

近田 拓未

静岡大学 理学部付属放射科学教育センター



Science Cafe in Shizuoka 2019-2020 サイエンスカフェ静岡 主催: 静岡大学理学部



【第137話】「海水から太陽をつくろう」

日々私達を照らしてくれる太陽は、核融合反応でエネルギーを生み出しています。核融合の研究は、いわば海水から「太陽をつくる」取り組みです。究極のエネルギーへの人類の挑戦についてご紹介します。

第29シリーズ

令和元年9月5日(木) 18:00-19:30

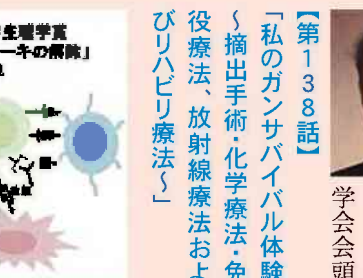
木村 榮一

広島大学 名誉教授 元日本薬学会会頭



【第138話】「私のガンサバイバル体験〜摘出手術・化学療法・免疫療法、放射線療法およびリハビリ療法〜」

がんは日本人のほぼ二人に一人が罹患しています。私は2年半前より腎盂がんおよび以後の進行・転移がんを患ってきましたが、標記療法の結果ほぼ回復しました。薬学教育研究者として、その体験を患者視点でお話します。



令和元年10月10日(木) 18:00-19:30

川本 竜彦

静岡大学 理学部地球科学科



【第139話】「沈みこんだ海水が火山を作る」

2009年、顕微鏡でマントルの岩石薄片を観ている際に塩水のカプセルを発見。プレートの沈み込み

帯のマントルに、塩水が存在する初めての物証になりました。マグマを作ると海水が一役買っていると直感した瞬間です。



令和元年11月7日(木) 18:00-19:30

木村 杏子

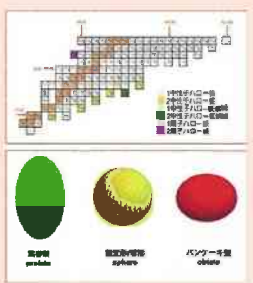
静岡大学 理学部 数学科



【第140話】「EZZJイデアルの代数的性質」

EZZJイデアルとは、有限グラフから構成される代数的性質。G = (V(G), E(G)): 有限単純グラフ, V = V(G): Gの頂点集合, E(G): Gの辺集合, S := K[V(G)] := K[x_1, ..., x_n]: 体K上の多項式環, GのEZZJイデアル: I(G) := {x_i x_j : {x_i, x_j} in E(G)} subset S.

します。



令和2年1月23日(木) 18:00-19:30

洪川 浩一

ふじのくに地球環境史ミュージアム



【第142話】「足もとの魚類群像〜アストラベ群の種多様性と適応放散〜」



波打ち際に堆積する砂礫間隙に生活の場を求めたハゼの仲間「アストラベ群」。近年続々と新種が見つかり多様性の実態が明らかになりつつあります。変化の激しい環境に生きる彼らの姿や、迫りくる危機をお伝えします。

静岡大学同窓会 ホームカミングデー 科学講演会 2019年11月16日. 講演: 東義明 (Department of Molecular Biosciences, University of Kansas) and 堀久氏 (理学部地球科学科).

1 ハビタブル 惑星発見

アルファ・ケンタウリの「ケンタウルス座α星」はケンタウルス座という星座のこと。

ケンタウルス座は南天の南十字星にほど近い位置にあり、日本では沖繩や小笠原などで見ることが出来る。この星座を構成する星々のうち、肉眼で最も明るく見える星がケンタウルス座アルファ星(アルファ・ケンタウリ)で、全天でもシリウス、カノープスに次いで

互いの周りを約80年で一周し、その間、両者の距離は約10パーセク(※1:天文単位※2)から約40パーセクの間を変動する。

20世紀に入って全天の観測がさらに進むと、アルファ・ケンタウリ恒星系は連星ではなく、さらにもう一つ、恒星が重力的に結びついた三重連星であることが明らかになった。その3番目の恒星がプロキシマ・ケンタウリで1915年に発見された。質量は太陽の1/10、明るさは太陽の

ロジエクトのグループはプロキシマ・ケンタウリに興味深い惑星を発見した。このプロキシマの惑星タイプは、地球に似た岩石惑星で、その公転周期は11.186日、質量の下限値は地球の約1.27倍、公転軌道半径は0.05パーセクである。この公転軌道半径は、プロキシマ・ケンタウリのハビタブルゾーン(Habitable zone)※4内にあ

る。プロキシマがハビタブルゾーンにある岩石であること

ける。またプロキシマ・ケンタウリは太陽と同じレベルの強さのX線を放射しているが、プロキシマは主星からの距離が地球の1/20なので、地球に比べて約四百倍強いX線にさらされる。紫外線も強い。また、プロキシマ・ケンタウリが生み出す磁場は太陽の数百倍も強い。もしプロキシマの誕生時に大気が存在していたとしても、至近距離からのフレアの直撃や強力なX線と紫外線、強磁場によって大気が失われてしまった可

能性がある。

球は常に夜の極寒の世界になる。夜側の半球は海が存在するとしても凍結しているかもしれない。

ただプロキシマが地球のようにある程度強い磁場を持つていれば、その磁場がイッシュの障壁のような働きをして大気の流れを防いでくれる可能性はある。また潮汐ロックが起きていても、星側の高温の半球と夜側の寒冷な半球との間で大気や海の循環が生じ、それほど大きな温度差にならない可能性もある。星側の半球と夜側の半球の境界領域は常に夕暮れの世界となり、こうした場所なら比較的、温和な環境が実現しているかもしれない。

ホンアン」を開始した。紅岸の基地は中国東北部、大興安嶺山脈のある山の頂に秘密裏に建設された。

紅岸の基地(レーダー峰)では大型の電波望遠鏡を使う本格的なアクティブSETIが、アレシボメッセージ※8の送信より10年近く先行して実施され、それに応答したのが、惑星破壊の危機にさらされ、移住先を探していた三体星人だった。一方、このコンタクトの事実をレーダー峰でただ一人知り、秘匿したのが物語の主人公である若き天文学者、葉文潔(エイ・ウエンジエ)。彼女は文化大革命で物理学者の父が犠牲になり、自身も過酷な境遇に置かれ、人類の未来に絶望していたが、その才能を買われてレーダー峰で働くようになった。それから40数年後、紅岸計画は歴史の中に埋もれ、急速な経済発展を遂げた現代の中国で、葉が動き始める物語が急展開する……。

知識なしに没入してゆく。そのゲームの世界の登場人物は三体星人ではなく、古代中国王朝や科学史に残る有名な人物たちという設定である。そして、自身のアバターであるコバルトが住む「われわれの惑星」(三体世界)で太陽がたまために動いているように見える理由は、特異な三重星系に属していることを喝破し、ローマ教皇グレゴリウス一世に、乱紀と恒紀が存在する現象について、三体問題として説明するくだりがある……。

プレイヤーのアバターもそうした人々に混じって、地球に似た穏和な環境が続く恒紀の三体文明に関わるが、炎熱や酷寒が支配する乱紀が訪れると、人々は燃え上がったり脱水したりして文明は滅亡し、プレイヤーは現実世界に戻ってくる。プレイヤーは作中の現実世界とVRゲームの世界を往復するうちに、惑星「三体」では恒紀に文明が勃興しては乱紀に滅亡するサイクルが地球文明よりも遙かに長い年月続いてきたこと、そうした興亡の末、現在は地球文明よりも高度なレベルに達しているが、その文明をもつていても将来、惑星が破滅的な自体を迎えるのは避けられないことを知るようになる。

2017年5月号42〜51頁 ※2 「013・259光年」 3・084×10¹³百、10パーセクは、太陽と土星の距離、40パーセクは、太陽と冥王星の距離に相当。

※3 米国の天文学者で作家でもあったセーガン(Carl Sagan)が、探査機ボイジャーが1990年に太陽系外縁から撮影した地球の姿を「Pale Blue Dot」と呼んだことになぞらえた。

※4 惑星表面に水が液体として存在しうる程度の暖かさになる帯域。

※5 劉慈欣著「三体」早川書房

※6 中島林彦(日本経済新聞)／協力者：須藤晴(東京大学)「SF小説『三体』に見る天文学最前線」日経サイエンス2020年3月号28〜35頁

※7 「作者劉慈欣が語るSFと科学技術」日経サイエンス2020年3月号48〜51頁

※8 1974年、米国立電波天文台の天文学者ドレイク(Frank Drake)が、惑星科学者のセーガン(Carl Sagan)と協力、米プロットロコにある当時世界最大の功有300mアレシボ電波望遠鏡を強力な電波発信器として使い、ヘラクレス座の球状星団M13に存在しているかもしれない異星文明に向けてメッセージを発信した。この「アレシボ・メッセージ」の送信が能動的な異星文明の探査(アクティブSETI)の始まりだ。

※9 R・モンゴメリー「三体問題に進展、周期解に新たな予想」日経サイエンス2020年3月号38〜47頁

※10 「特集」スターショット計画「日経サイエンス」2017年5月号28〜42頁

技術ニュース SF小説「三体」の概要と背景



巨大なフレア爆発を起こしているプロキシマ・ケンタウリとその惑星プロキシマb



FAST天眼

1960年代、中国では文化大革命の嵐が吹き荒れていた。知識層は激しい迫害を受け、社会は大混乱を呈していたが、東西冷戦のまっただ中だったため、西側陣営の欧米諸国や日本は、東側の中国でどんなことが起きているかわからなかった。

そうした鎖国状態の中国で、米国にファーストコンタクトで先んじられ、異星の高度な技術を米国が独占することを恐れた指導部がSETI(地球外知的生命体の探査)の国家プロジェクト「紅岸」

SF小説「三体」の中で、ケンタウルス座アルファ星系は大胆に変更されている。その物語世界では、この星系は見分けがつかない三つ子の太陽のような恒星群で、それが近接して互いの周りを回っている。つまり天体力学の難問として知られる三体問題を、惑星はそれら恒星の予測不能な動きに振り回されることになる。これが地球人類と対峙する三体星人が暮らす惑星「三体」だ。

作中、舞台が現代中国に移ってからの主人公であるノテクノロジー研究者、汪淼(ワン・ミヤオ)は、この惑星を再現したバーチャリアリティ(VR)、仮想現実「ゲーム」(三体)の世界に、全く予備

3番目に明るい。この星は太陽系から約4.3光年のところにあり、地球に最も近い恒星である。アルファ・ケンタウリは肉眼では一つの星に見えるが、望遠鏡で観察すると二つの恒星からなる連星であることがわかる。明るいほうをアルファ・ケンタウリAといい、質量は太陽の約1.1倍で明るさ(光度)は約1.5倍、もう一方をアルファ・ケンタウリBといい、質量は太陽の約0.9倍で明るさは約0.5倍だ。

約0.002倍だ。最も三重連星といっても、アルファ・ケンタウリAとBの連星とプロキシマ・ケンタウリとの距離は約1万5千パーセク(約0.2光年)もあり、天空上でもかなり離れている。プロキシマ・ケンタウリがアルファ・ケンタウリAと同Bの連星の周りを回る公転の周期は50万年以上と見られる。

そして21世紀、プロキシマ・ケンタウリの発見から約百年後の2016年、国際共同の「Pal Red Dot (PRD)※9」プ

がわかつてきて、生命を宿しうる海と大気が存在するかどうかに関心が集まっている。もっともハビタブルゾーンにあるといつてもG型星(太陽)の惑星(地球)とM型星(プロキシマ・ケンタウリ)の惑星(プロキシマb)とは状況が大きく異なる。

プロキシマbの主星であるプロキシマ・ケンタウリは太陽よりも活動が活発で大規模なフレアが発生するので、至近距離を周回するプロキシマbは高エネルギーの直撃を受

ける。またプロキシマ・ケンタウリは太陽と同じレベルの強さのX線を放射しているが、プロキシマは主星からの距離が地球の1/20なので、地球に比べて約四百倍強いX線にさらされる。紫外線も強い。また、プロキシマ・ケンタウリが生み出す磁場は太陽の数百倍も強い。もしプロキシマの誕生時に大気が存在していたとしても、至近距離からのフレアの直撃や強力なX線と紫外線、強磁場によって大気が失われてしまった可

能性がある。

ただプロキシマが地球のようにある程度強い磁場を持つていれば、その磁場がイッシュの障壁のような働きをして大気の流れを防いでくれる可能性はある。また潮汐ロックが起きていても、星側の高温の半球と夜側の寒冷な半球との間で大気や海の循環が生じ、それほど大きな温度差にならない可能性もある。星側の半球と夜側の半球の境界領域は常に夕暮れの世界となり、こうした場所なら比較的、温和な環境が実現しているかもしれない。

知識なしに没入してゆく。そのゲームの世界の登場人物は三体星人ではなく、古代中国王朝や科学史に残る有名な人物たちという設定である。そして、自身のアバターであるコバルトが住む「われわれの惑星」(三体世界)で太陽がたまために動いているように見える理由は、特異な三重星系に属していることを喝破し、ローマ教皇グレゴリウス一世に、乱紀と恒紀が存在する現象について、三体問題として説明するくだりがある……。

2019年
理学同窓会総会&地学同窓会
合同ホームカミングデー

【日時】2019年11月16日
(土)

【場所】静岡大学理学A棟2
階大会議室(A209号室)

2019年11月16日(土)
第70回静岡大祭in静岡と同時
開催で、理学同窓会ホーム
カミングデーを開催いたしま
した。

地学同窓会と合同開催の
ため、科学講演会は2名の
講師の先生をお迎えしまし
た。

(地学同窓会総会)
12時00分 地学同窓会総会
12時20分 講師 湯佐泰久
氏(理学部地学履修コース第
1回卒)

演題・自然から学ぶ放射性
廃棄物処分の知恵
(理学同窓会(理学同窓会
ホームカミングデー))

14時00分 理学同窓会総会
14時30分 科学講演会
講師 東義明(Department of
Molecular Biosciences, Univer-
sity of Kansas)

演題・離れたゲノムをいかに
よくよく。A key event in mitosis
for separating genome.
終了後、懇親会を開催しま
した。

第2回静岡大学理学同窓会
中部支部総会・懇親会開催報告

2019年6月16日
(日)に、ウインクあいち
(愛知県名古屋市中村区名
駅4)において、「第2回
静岡大学理学同窓会中部支部総
会」を開催いたしました。

文学部をご卒業の方に
もご参加いただき、大変賑
やかに開催することができ
ました。

第6回静岡大学理学同窓会

東京支部総会・懇親会
第4回

静岡大学地学同窓会総会・懇親
会

第3回全学同窓会 東京交流会
開催報告

【日時】2019年6月15日
(土)

【場所】東海大学校友会館
(霞が関ビル35F)

全学同窓会東京交流会に
先駆けて、東京支部総会と
講演会、地学同窓会の総会
と講演会を開催いたしまし
た。講演では茨城大学理学
学部教授の岡田誠(S58年
地球科学科入学)の「チバテ
ラ」についての説明があった。
現在、77万4千年前の前期
更新世と中期更新世の代表
的地層として国際地質学連
合(IUGS)の理事会での
認定を受けられるかどうか
微妙な段階にあるとのこと
でした。

引き続き行われた全学同
窓会東京交流会は、文学部
部会(卒業の方にも)参加
いただき、大変賑やかに開
催することができました。

★龍爪の懇親会
11月11日、水交会館にて
旧制静岡高及び文学部の諸
先輩と旧交を温めました。
理学同窓会からは浅野会
長と藤岡東京支部長が参加
しました。会合の席にて旧制
静岡高同窓会報のタイトル
「龍爪」の使用の承認が得ら
れました。



令和2年 理学・地学 同窓会第1回幹事会 議事録

日時 2月15日(土)

14:00~14:30
場所 日大文学部8号館
レクチャーホール

議事概要

(1)理学同窓会会長が来年度
交代予定

浅野会長→鈴木さん(数
学科OB)

今後継続して東京支部
への援助を求めるとしてい
る。4月から藤岡支部長が、
静大防災総合センター客員
教授に就任するので、これ
を活かして学長や理学部長ら
と交渉する予定。

(2)東京交流会試行的懇談会
について

静大同窓会交流会は、浜
松地区、静岡地区、東京地
区、中部地区で、交代で実施
することになり、東京交流会
は4年に一度の開催になる。
次回の東京交流会は、20
23年に実施予定。このため
東京交流会実行委員会は2
021年まで開催されないの
で、実行委員会を開催しない
年にも情報交換を継続する
ため懇談会を開催すること
を考え、2/15に試行的懇
談会が開催されることとな
った。今後の運営については、
本日の試行的懇談会で決め
ることとなっている。これは前
回の実行委員会を4月に
行つて決める。

(3)同窓会関連スケジュール
・5月30日 理学東京支部
地学同窓会 これから準備
を始める。
・6月7日 静岡地区交流

会
・5月30日(土)12:00より私
人会館で開催。
・当面急ぐのは同窓会案内で
あり、同窓会本部より3月
に会員に郵送してもらうに
は、案内状原稿の提出締め
切りは2月下旬である(2月
20日(木)に同窓会本部に送
付する予定)。藤岡支部長が
案を作り、幹事に回覧の上、
同窓会本部に提出すること
となった。

(4)会計報告
・足立副支部長作成の資料
に基づき、簡単に説明があっ
た。交通費など未払い分があ
り、今後、足立副支部長より
支払われる予定である。

(5)理学東京支部・地学同窓
会について
・余興については現在良い案
がないので、引き続き検討す
る。竹内幹事担当。
・5月30日(土)12:00より私
人会館で開催。
・私学会館の見積もりは総額
約28万円と比較的安いの
で、30人の参加があれば会費
を9千円にしても開催可能
である。しかし諸般の事情を
考慮して、今年も1万円と
する。来年の同窓会会費は、
本年同窓会の結果を見て考
える。なお、マイク以外の必
要品、プロジェクターなど
については今後検討する。
・講演者の1人は、安達正
氏に決定した。地熱発電開
発関係の話をしよう。安
達氏の連絡役となっている志
田原副支部長は、経歴と講
演概要の作成を安達会員に
依頼すること(志田原→既に
経歴・講演概要の例を送って
あり正式に依頼すればよい
段階にある)。またもう1人
の後援者は現在調整中であ
る。

(6)理学東京支部・地学同窓
会
・10月にホームカミングを見
すえて

(7)今後の予定
・次回幹事会は、4月3日
(金)18:00私学会館オ
フィスで会館担当者を含めて開
催(長谷川顧問)。
・次々回幹事会は5月30日の
1~2週間前に予定する。
・5月30日(土)、同窓会開
催。
・6月中旬、反省会を開催。
・10月にホームカミングを見
すえて

臨時理事会議事録

令和2年1月4日午後4時00分より、静岡市葵区紺屋町8-13静岡駅前会議室
LINK B館412号室において、静岡大学理学同窓会の臨時理事会を開催した。
出席した理事 5名 事務局員 1名 委任状 8通
上記のとおり、出席と委任状があったので、会則第10条に従い、会長が議長
になり、議事を進めた。

第1号議案 浅野会長退任の件

浅野会長が、健康上と一身上の事由により会長の辞任を申し出ていたので、
全員異議なくこれを承認した。

第2号議案 会計担当理事の交代

会計担当理事が多忙のため辞任を申し出ていたので、1月初旬の交替時期
で、三重野哲氏に交代することとなり、全員異議なくこれを承認した。

第3号議案 後任会長推挙の件

後任会長は、役員の中から選任すべきとの意見が出された。ただし、副会長
の出席が1名だったため、2020静岡交流会までの間に合意を得ることとなり、
その間は会則第9条に従い副会長が会長の代理を勤めることが確認され、全員
異議なくこれを承認した。

第4号議案 平成30年度会計報告の訂正の件

令和元年11月16日に開催された総会において、承認された平成30年度会報
告の中で、浅野会長の見落としにより、科目及び金額の誤謬が多数判明した
ため、その修正報告書の説明を行ない、全員異議なくこれを承認した。

添付資料参照

- (1) 科目の誤り 会議費・旅費交通費、支部活動費、慶弔費、
- (2) 金額の訂正 収入の部予算額、通信費、送金手数料等、予備費、

第5号議案 同窓会今後の運営について

- (1) 同窓会の活動を維持してゆくためには、理事の若返りが必要なので、
同窓会活動に協力してもらえ人材を、静大理学部教職員から推挙
してもらうこと。
- (2) 同窓会活動には、大学の事情に精通している人材を役員に入れる必要
があるので、静岡大学理学部の卒業生をもう少し、教職員に採用して
もらえるように、大学の教職員に働きかけること。
- (3) 静大理学部を魅力のある大学にして、若手の研究者に来てもらえる
ようにし、同窓会活動の運営に協力してもらえるようにするため
には、大学院生や、若手の研究者への研究奨励金を同窓会から支給
することを考えること。
- (4) 奨励金を出すためには、予算の見直しを行ない、不要不急の支出を
抑えることが必要。
①会報を卒業後長期間配布することをやめて、10年間の配布と、その
後は希望者への有償の配布にしようか。ただし、高齢者は、H
Pを見るのも大変で、かつ、寄付集めの際だけの連絡も問題がある
ので一考が必要かもしれない。
②卒修論文抄録誌を印刷物から、USBに変えては如何か。そのほ
うが発行コストを下げられるのではないか。(原稿のみを保管する
ことにしたら保管場所も低減できる?)
- (5) 会則第7条の見直しを行うこと。
副会長を各学科代表の現行4名から2名にし、責任と職務権限を強化
すること。なお、赤星氏から、役員改選のときに副会長を辞任し、理
事として同窓会活動に協力したいとの申し出があった。
- (6) 会則第9条の見直しを行うこと。
①会長・会計の業務を軽減し、理事に職務を分担させて事務局の機能
を高めること。
②役員任期を4年から2年または3年に見直すこと。
- (7) 会長業務の代行
①静岡大学卒業式および静岡大学理学部卒業・修了祝賀会の出席を鈴
木副会長に委任する。
②静岡大学入学式の出席を赤星副会長に委任する。
③2020静岡交流会の出席を平松副会長に委任する。

第5号議案は、今後の対策として提案された意見どおりに行うことで可決した。

以上をもって臨時理事会の議案全部を終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、
午後5時50分散会した。
令和2年1月4日

静岡大学理学同窓会 臨時理事会
議長・会長 浅野安人
議事録確認者 三重野哲
議事録確認者 赤星順一

理学部ニュース

チバニアン認定

茨城大学教授の岡田誠(S58地球科学科入学)らの提唱した「千葉複合セクション」が韓国・釜山で開かれた国際地質学連合(IUGS)の理事会において77万4千年前の前期更新世と中期更新世の境界を示す代表的な地層として認められた。これを受けて、日本の申請チームが兼ねてより提案していた「チバニアン」が、中期更新世の地質年代として正式に採用された。詳細は左記参照のこと。
出村政彬(編集部)「77万年前の地球注探る」日経サイエンス2020年4月号46~53頁

顕生代	第四紀	完新世	(後期)メガラヤン	4200年前	
		更新世	中期	ノースグリッピアン	8200年前
			前期	グリーンランドイアン	1万1700年前
		更新世	(後期)		12万9000年前
			中期	チバニアン	77万4000年前
			前期	カラブリアン ジュラシアン	258万年前
		中生代	新第三紀		6600万年前
			古第三紀		
			白亜紀		
		古生代	ジュラ紀		
三疊紀					
先カンブリア時代			2億5200年前 5億4100年前		

- 2020.03.23 卒業式・学位授与・祝賀会(中止)
- 2020.03.12 後期日程入試
- 2020.03.10 理学部B棟改修工事完工
- 2020.02.25 前期日程入試
- 2020.02.08 推薦・AO入試
- 2020.02.02 FSS/第8回基礎力養成講座開催
- 2020.01.23 新型コロナウイルス発生について(保健管理センター)
- 2020.01.17 「チバニアン」がIUGSで認定された
- 2019.12.15 FSS/第7回基礎力養成講座開催
- 2019.12.08 リクレスイベント開催
- 2019.11.30 しずおかサイエンスレクチャーを富士宮市で開催
- 2019.11.23 FSS/第6回基礎力養成講座開催
- 2019.11.16 理学同窓会総会・科学懇親会(A209)
- 2019.11.09 FSS公開講座を浜松市で開催
- 2019.11.07 静岡サイエンススクール(サイエンス・オータムプログラム)開催
- 2019.10.27 FSS/第5回基礎力養成講座開催
- 2019.09.08 FSS/第4回基礎力養成講座開催
- 2019.09.01 理学部B棟改修工事
- 2019.08.21 FSS/第3回基礎力養成講座開催
- 2019.08.17-18 静岡サイエンススクール(サイエンス・サマープログラム)開催
- 2019.08.10-18 香港鍵大学で海外研修実施
- 2019.08.09 FSS2019発展コースの7名が参加
- 2019.08.03 オープンキャンパス
- 2019.07.28 FSS/第2回基礎力養成講座開催
- 2019.07.28 未来の科学者養成スクール(FSS)第3期生入校式
- 2019.06.16 FSS/第1回基礎力養成講座開催
- 2019.06.16 FSS(Future Scientist's School)海外研修の事前研究1を開催
- 2019.06.15 中部支部総会・懇親会(ウインクあいち)
- 2019.06.15 第6回東京支部総会/第3回東京交流会(東海大学校友会館)
- 2019.04.23 科学オリンピック特別支援講座開催
- 2019.04.21-23 日本古生物学会普及講演会開催
- 2019.04.04 入学式

2019年度理学部ニュース

- 2020.03.23 卒業式・学位授与・祝賀会(中止)
- 2020.03.12 後期日程入試
- 2020.03.10 理学部B棟改修工事完工
- 2020.02.25 前期日程入試
- 2020.02.08 推薦・AO入試
- 2020.02.02 FSS/第8回基礎力養成講座開催
- 2020.01.23 新型コロナウイルス発生について(保健管理センター)
- 2020.01.17 「チバニアン」がIUGSで認定された
- 2019.12.15 FSS/第7回基礎力養成講座開催
- 2019.12.08 リクレスイベント開催
- 2019.11.30 しずおかサイエンスレクチャーを富士宮市で開催
- 2019.11.23 FSS/第6回基礎力養成講座開催
- 2019.11.16 理学同窓会総会・科学懇親会(A209)
- 2019.11.09 FSS公開講座を浜松市で開催
- 2019.11.07 静岡サイエンススクール(サイエンス・オータムプログラム)開催
- 2019.10.27 FSS/第5回基礎力養成講座開催
- 2019.09.08 FSS/第4回基礎力養成講座開催
- 2019.09.01 理学部B棟改修工事
- 2019.08.21 FSS/第3回基礎力養成講座開催
- 2019.08.17-18 静岡サイエンススクール(サイエンス・サマープログラム)開催
- 2019.08.10-18 香港鍵大学で海外研修実施
- 2019.08.09 FSS2019発展コースの7名が参加
- 2019.08.03 オープンキャンパス
- 2019.07.28 FSS/第2回基礎力養成講座開催
- 2019.07.28 未来の科学者養成スクール(FSS)第3期生入校式
- 2019.06.16 FSS/第1回基礎力養成講座開催
- 2019.06.16 FSS(Future Scientist's School)海外研修の事前研究1を開催
- 2019.06.15 中部支部総会・懇親会(ウインクあいち)
- 2019.06.15 第6回東京支部総会/第3回東京交流会(東海大学校友会館)
- 2019.04.23 科学オリンピック特別支援講座開催
- 2019.04.21-23 日本古生物学会普及講演会開催
- 2019.04.04 入学式



改修工事がほぼ完了したB棟の外観(3月2日撮影)

理学部B棟改修に寄せて

理学部副学部長 岡林利明

元号が平成から令和に変った本年8月、理学部B棟の全面改修工事が始まった。記録を遡るとB棟の落成は昭和43年(1968年)のことであり、昭和・平成・令和の三時代の学生たちに使われてきたことになる。すでに、建物内部からはすべての設備が撤収され無人となっており、

建物全体がフェンスに囲まれた状態である。大分前に卒業された方は「理学部B棟」といわれてもピンと来ないかもしれないが、「理学部A棟の横にくっついた講義棟」といえば分かり易いかもしれない。2階に並ぶ講義室は、理学部生なら必ずお世話になった場所であり、「ああ、〇〇先生の講義を受けていた場所か」とか、「卒研発表のときは緊張したな」とか、懐かしく思い出していただけるのではないだろうか。特に、化学科の有機化学系グループでの卒研を選択された方には、「有機合成や生体活性物質の単離などに格闘した三階のあの部屋たちがなくなる」といえば、多少の感慨を感じる方もおられるかと思う。

先に述べたように、理学部B棟は完成後50年を経て老朽化が激しく、少し前までであれば全面立て直しを検討されるレベルであった。しかし昨今の地方国立大学をめぐる経済状況は極めて厳しいものがあり、静岡大学もその例外ではない。国は建物の建て替えのサイクルを伸ばすため、既存の建物を改修して80、90年(一)保たせることを求めている。今回の改修もそれを受けて行われるものである。これまでに小さな改修を受けてきたものの基本設計が50年前ということに使い勝手が悪く、それを可能な限り現代的に改修することを目的としている。

それでは、改修後の様子を軽く紹介しよう。2階の講義室スペースは一部を除いて、床に固定された机(固定机)から可動機に全

面的に入れ替えられる。これは、将来静岡県を襲うと予想される東海地震対策である。静岡大理学部は標高50mの高台にあり、津波が発生した場合、平地の住宅街から多くの避難者が集まってくると思われる。この際に、講義室は避難所としての機能を要求されるからである。また、2階奥に飛び地として残っていた物理学科の研究室を3階に移転し、跡地を教室化することでカリキュラム構成の柔軟化を図るほか、数年前に新設された創造理学コースのために双方向性の講義形態を有するアクティブラーニング対応の講義室も新設する。

3階の研究スペースは間取りの含めた大きな変更を受ける。これまでこのスペースには四つの有機・無機合成化学系研究室と一つの理論化学系研究室があるが、研究室レイアウトは狭くバラバラで、昨今のプロジェクト化の進む研究の流れから大きく外れた形となっていた。また、多くの実験台やドラフトが古く(昭和43年製、中にはそれ以前の「大岩キャンパス(旧制静岡高校跡地、現城北公園)」から持ち込んだ)のでないかと思われるものまで存在した。さらには、発癌性のアスベストを含む素材を用いた実験台・ドラフトなども複数あり、それらを一気に更新する必要がある。そこで、今回の改修ではこの四つの合成系研究室を共通デザイン(各実験室にドラフト3台・中央実験台3台)で統一し、複数の研究室によるプロジェクト化が容易な形

態に再配置を行う予定である。また、実験室と学生居室を分離し、学生の化学薬品への曝露時間を可能な限り短くすることで、健康への影響を最低限に抑える配慮がなされている。この他、実験室と学生居室、及び実験室と教員室の間の扉には大きな強化ガラスが取り付けられ、緊急時に外部からの確認が遅れないように工夫されている。

このように大きな改修にはこれほどの資金が必要であるが、実は文部科学省から配分される予算は建物本体部分のみであり、中に入る机・椅子・実験台・ドラフト等についての予算措置は想定されていない。再利用可能な設備は、可能な限り利用するものの、数十年前の設備が多くそれにも限界がある。2階の講義室スペースについては、幸いなことに福利厚生会から数百万円の支援をいただいたが、3階の研究スペースに関してはさらに一千万円以上の不足を生じている。先に述べたように、本件は理学部の今後30-50年の研究・教育の基盤となる重要な改修である。そこで、同窓生の皆様にも幾ばくかの支援を賜りたく、理学部同窓会のご協力によりここにお願ひしたいと考えている。寄付は静岡大学未来創成基金のホームページから簡単にを行うことが可能である。その際、「事業の種類」として「その他」を選択したのち、確認事項欄に「理学部B棟改修事業」などをご指定いただければ幸いです。皆様のご理解とご協力を心よりお願いいたします。

事務局だより

○昨年は、新たに天皇陛下が即位し、元号が「令和」に改元しました。新しい時代の幕開けに期待する一年になりました。また、スポーツでは、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表が8強入りし、試合会場のある静岡県も大いに盛り上がりました。

○科学分野では、ノーベル化学賞に、リチウム電池の開発に携わった吉野彰氏が授賞しました。スマートフォンや電気自動車の普及にも繋がり、持続可能な社会の実現に貢献したことが評価されました。一方、台風大雨被害や記録的な猛暑など、日本国内に限らず地球規模の大きな自然災害が起きています。防災に対する意識をより高める必要があると感じた一年でした。

○そして今年はいよいよ2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。多くの感動や熱狂するシーンが生まれることを楽しみにしています。

●理学部は、今年も各地で同窓会・交流会が開かれます。6月には静岡市で全学交流会が開催予定です。詳細は会報本文に掲載いたします。たくさん同窓生の皆様のご参加をお待ちしています。

●同窓生の皆様に住所や勤務先、連絡先(FAX E-mail)等の変更がございましたら、同窓会事務局まで「一報ください。また、同窓会主催・共催の催し物のお問い合わせも同窓会事務局までどうぞ。

●今号は令和最初の会報となります。現在の担当になつて今年度12年目を迎えます。これからも引き続き、同窓会を精一杯お届けします。

●連絡先は左記の通りです。
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷305 静岡大学理学同窓会事務局
E-mail: scalm@shizuoka.ac.jp



龍爪だより (旧制静高)

13 文内 中曾根康弘

寄稿(その一) エデンの花園

さるまたの紐を締めつ

私が今の身の如何に寂しき

これは旧制静高仰秀寮の魁寮便所にあつた落書きである。今時このような落書きをする学生が高校や大学の寄宿舎にはないだろう。寮に住んで、飲んだり、運動したり、議論したりスチームをやったりすると、自然に独特なインテリの独創社会が生まれる。腕力や知力や競争力とともに独創的・文学的・情緒的・詩的・哲学的雰囲気が生まれ、その息を呼吸しているうちに生まれる落書きがある。

中学(旧制高崎中学)を出て旧制静高の寮に入り、マントを着て高下駄を履いて、カフロンと駿府城のお堀のわきや、歓楽街の握り寿司屋の「安さん」に通ううちに、天下人的処世観が自然と生まれてくる。

寮の中では先輩・後輩の秩序もあるが、それらを超越した人間的幅や深みの大小がものをいうことになる。寮祭や新入生入寮のシーズンはひとつの区切りであるが、それを経ることに知性と人間的ポリウムが養われていく。旧制高校のとは不思議な人間形成の道場であった。

そこから抜け出して大学や社会生活に入ると、齢をとればとるほど静岡の三年が人生の「エデンの花園」のごとく慕わしくなる。

今の子生たちはまことに可

哀れなものだ。

(出典：旧制静高同窓会誌「龍爪第80号」)

プロファイル：群馬県高崎市出身、旧制静高→東大法(政治学科)。八十年代初頭にプライム・レートが20%を越えて凋落著しい米国経済の混乱期に登場したレーガン大統領時代との蜜月時代を象徴する『ロン・ヤス時代』を築いた元内閣総理大臣。百一歳の長寿だった。合掌

寄稿(その二) 念ずれば 花開く

9 理乙 重城 良造

齢をとると、子供たちは独立し、身辺が次第に寂しくなる。それまでうるさいと思っていたのが、妻と二人きりの生活になると、なんとなく物足りなさを感じるものである。八十歳を過ぎると、長年親しかった友人や先輩が、ぼつぼつ他界していく。これは極めて自然なことであり、人間として生まれてきた者の宿命である。とはいえ、孤独感というものは耐え難いものである。

筆者はこんな時に「念ずれば花ひらく」という言葉が頭に浮かんでくる。若い時から筆者の好きな言葉で、下手な字で色紙などに書いたり、扇面に書いて孫たちに贈ったりし、いつかはなしに筆者の座右の銘となつてしまった。困った時や苦しい時に、よくこの言葉が浮かんできた。そして繰り返し繰り返しこの言葉を心の中で念じていた。

さて、この言葉に出会うまでのことを記しておこう。大学に入学して間もない頃、東京・神田の神保町の古本屋街に行つては本の立ち読みをしていた。旧制高校、大学時代と、筆者の家は貧乏のどん底にあつた。そのため「お金には大変困つてた。古本屋で一番先に目についたのが河上の『貧乏物語』である。当時は大正デモクラシーの時代で競つてマルクスの資本論の研究に走つてた。河上肇は左翼の大学教授で、その著書『貧乏物語』はよく読まれた本であつた。

この本を拾い読みしているうちに、ふと次の本棚を見ると、米国のピトキン博士なる人物の書いた「信念の魔術」という本が目にとまつた。この本には、人は念願したことは必ず実現できる、その方法は次の通りであると記してあつた。

「自分が、こんなことをしたい。こんな物が欲しい。こんな人間になりたい、という願望を持つたら、そのことを朝から晩まで、昼となく夜となく、心の中で絶えず念ずることである。例えば大きな立派な家が欲しいかしたら、その家が出来上がった有り様を頭の中で描き、必ず出来上がると信じ込み、絶えず頭の中や心の中で繰り返し念ずることである。このようにすれば、即ち信念の魔術によつて念願したような家が実現する」と。

「信念の魔術」なる本を読み、物事を成し遂げるには是非とも必要なことであると念ずるようになった。

それから十数年を経過して、ある書物を読んでいた時「念ずれば花開く」という言葉に出会つた。そこでは以前読んだ「信念の魔術」を思い出し、この言葉に強く惹かれる。

た。この言葉が大好きになつた。後で地で調べてみたら仏教の言葉であることを知つた。以後、この言葉が何十年も筆者の座右の銘となつたのである。

先日、次男が坂村真民氏の「念ずれば花ひらく」という詩集を持つてきてくれた。「この言葉をよく口にしていたためであろう。この言葉を詩の題目にする人がいることを知つて大変うれしく思つた。詩集の一部を紹介しよう。

「念ずれば花ひらく」
念ずれば 花ひらく
苦しいとき 母がいつも
口にしていた このことは
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつひらいていつた

他にも多くの格調高い詩が記されてあるが、坂村氏は詩集の「あとがき」に次のように記している。

「念ずるといふのは、前向きに生きようとすることであつて希望なのである。どん底に落ちても、念じながら這い上がつてくる不屈の魂である」と。

更に、「念といふのは今という字と、心という字から出来ている。つまり、いつもそう思うことである。一つのことをいつも思い続けていると、五十兆あるといわれる身体の中の全細胞が、今日のことばでいう遣伝子がそうなつていく。このことは現代の科学者が実証しているもので、二十一世紀になれば、いつた学問はもつと進み、「ねんずれば花ひらく」といふ真言が生きたものになつてくると思う」と述べている。

サテ、その店を出て私は谷島屋書店に赴く
コーフィと本、それ位しか私は能がない
その私の書齋派の傾向は60才の半ばになつても相変らない
「人間」なんて月刊誌が戦争が終わつてヒューマンな魂を光らせて世に登場した私はそれを手にとつて喜びを持ってページをパラパラと捲つてみる
ハハ、里美弾か、ハハ、永井荷風か
私は雑誌の売場から書棚の前に来た
岩波文庫の「真理は万人によつて求められ
ことを……」の草稿に係わつた
三木清の「哲学ノート」が三分冊で一番上の棚に並べてある
特高に殺された彼には、私は強い関心を
持つていた
当然に私は有金の一切を出しても
それを手に入れる
白い薄い、そのホンの扉に
私は「先輩三木清の死を負つて」と書き入れた
と言ふことは
学問の自由、真理の追究の人権
私は中学生の時から

静高の二年生の私は、
冷飯草履を履いて、仰秀寮を出た時に
昭和20年の敗戦の直後であつた。
ピタピタと街を歩いて
お眼当ての市の中心街の呉服町の
喫茶店に来た
上衣のポケットには、なげなしの
小遣いがはいつていた

私は大学を出て間もなく
キリスト教の洗礼を受けた
カクシテ私は
市役所から「老人手帖」が送られてくる
年齢に達した
そうかい、そんなに人を老人にしたいのかい
私は未だワカモノの積りだがネ
お世話は、ありがたいが
私は一人で生きていけるヨ
うるさいネ、ロージン、ロージンつて

そして私の理想は
ジケンズの「クリスマス・キャロル」のスクールジ
主を信じて冷たい陰うつな老人から
ヨロコビに溢れた快活な年寄りに変わった彼
又、
アルプスの少女・ハイジのアルムおじさん
カレも人嫌いの一人ぼっちを悔い改めて
教会にゆくようになり
山小屋の戸のまえに立ち
パイプのたばこを燻らせながらに
跳んだり跳ねたりして草の上で遊ぶ
ハイジを見やりながらに
優しく笑う、おじいちゃんになつた

スクールジ、アルムおじさんのように
神に愛され、人に愛される
イー・イー・チエアに腰掛けて
もの思いながらに、ネスカフエを飲み
マチのコーフィ・シヨップで
IPPAYのコーフィを前に長い間に座つて
あの年若い日に呉服町のキツサテンでしたように
イエス様がシンリ

陸軍の威張り粗野には反発を感じていた
私は、その頭の悪さにめらめらと
抵抗の心を燃やしていた
オハ、馬鹿な戦争
そうして私は東大の農学部に進み
好きな遺伝学を学び
それから、なんと言ふことはなく
たばこを造る公社に、はいつて
ビジネスマンになつて苦労した
そして私は自分が
研究者向きではなく詩を書く方だと知つた
苦しみの末に、そう悟つた
で、シンリ
若さのエネルギーは、それに集中する
生きていくための神
「真理とは何か？」とピラト

(出典：旧制静高同窓会誌「龍爪No.59」)

プロファイル：東京帝大農学部から日本専売公社 作家

(出典：旧制静高同窓会誌 東京帝大医学部、南やなぎ
「高龍爪No.82号」
プロファイル：旧制静高から 葉局代表取締役、医療法人
明敬会などに奉職
寄稿(その3)
呉服町の喫茶店 23 理四 渡辺 兵一郎

静高の二年生の私は、
冷飯草履を履いて、仰秀寮を出た時に
昭和20年の敗戦の直後であつた。
ピタピタと街を歩いて
お眼当ての市の中心街の呉服町の
喫茶店に来た
上衣のポケットには、なげなしの
小遣いがはいつていた

私は大学を出て間もなく
キリスト教の洗礼を受けた
カクシテ私は
市役所から「老人手帖」が送られてくる
年齢に達した
そうかい、そんなに人を老人にしたいのかい
私は未だワカモノの積りだがネ
お世話は、ありがたいが
私は一人で生きていけるヨ
うるさいネ、ロージン、ロージンつて

そして私の理想は
ジケンズの「クリスマス・キャロル」のスクールジ
主を信じて冷たい陰うつな老人から
ヨロコビに溢れた快活な年寄りに変わった彼
又、
アルプスの少女・ハイジのアルムおじさん
カレも人嫌いの一人ぼっちを悔い改めて
教会にゆくようになり
山小屋の戸のまえに立ち
パイプのたばこを燻らせながらに
跳んだり跳ねたりして草の上で遊ぶ
ハイジを見やりながらに
優しく笑う、おじいちゃんになつた

スクールジ、アルムおじさんのように
神に愛され、人に愛される
イー・イー・チエアに腰掛けて
もの思いながらに、ネスカフエを飲み
マチのコーフィ・シヨップで
IPPAYのコーフィを前に長い間に座つて
あの年若い日に呉服町のキツサテンでしたように
イエス様がシンリ

陸軍の威張り粗野には反発を感じていた
私は、その頭の悪さにめらめらと
抵抗の心を燃やしていた
オハ、馬鹿な戦争
そうして私は東大の農学部に進み
好きな遺伝学を学び
それから、なんと言ふことはなく
たばこを造る公社に、はいつて
ビジネスマンになつて苦労した
そして私は自分が
研究者向きではなく詩を書く方だと知つた
苦しみの末に、そう悟つた
で、シンリ
若さのエネルギーは、それに集中する
生きていくための神
「真理とは何か？」とピラト

(出典：旧制静高同窓会誌「龍爪No.59」)

プロファイル：東京帝大農学部から日本専売公社 作家